

年中 年長さん・・・かっこいい

発表会本番当日、お休みしたお友達がありました。クラスで話し合うと、「〇〇くんのはっぴょうかい」をしようとなりました。司会進行役、プログラムを作る人、きらきらライトを持つ人・・・その他必要なものなど次々と子供たちからアイデアが出て、決めていきました。早速翌日より準備に取り掛かります。プログラムも作りたい子が集まって文字を書く人、絵を描く人と分担。そんな中、さくら組さんがよかったら自分たちの絵の具を使ってみないかと誘いに来ました。ちょうどクラスに発表会の絵を飾っていたので、その絵をよりすてきにしてもらおうとお願いしました。そして、絵の具を丁寧に教えてくれた年長さんの一人の男の子が、実は発表会を休んだと分かりました。「わたしたちきんようびにやるんだよ」「いっしょにやろうか！」という運びになり、〇〇くんの発表会に年長さんも参加することになりました。司会はプログラムを見ながら代わりばんこに進めていました。自分たちの演目はもちろんはりきって取り組みました。そして、年長さんのハーモニカ。生で初めて聴きました。自然と静かになり、真剣に音色に耳を向ける。誰も促してなくても、みんなが惹きこまれていく様子でした。〇〇くんのために。と始まった発表会が、年長さんへの憧れへもいざなってくれる会となりました。(今回らん組にクローズアップしてお伝えしましたが、他クラスでも同様にそれぞれ休んだ子への保育や、年長からの伝承など、たくさんのドラマが生まれています。)

年中主任

